



委員会等活動成果

国際関係委員会 欧州調査部会

“The Actuary”の記事紹介

Pick Up

英国アクチュアリー会月刊誌「The Actuary」2004年7月号から

2004年7月26日

もっと赤ちゃんが必要？

More babies?

日本では先ごろ、2003年の合計特殊出生率（1人の女性が生涯に産む子供の平均数）が1.29と発表され、少子化が社会問題となっているが、その状況は英国でも同様のようである。

The Actuary 7月号の記事では、英国アクチュアリー会の家族政策研究グループ（FPRG: Family Policy Research Group）の一員である Clare Hobro が、当グループが発表した、英国における出生率と将来人口の関係についての議論書を紹介し、英国国民に広く議論を促している。

●英国アクチュアリー会による問題提起

FPRG は、2004年5月に「もっと赤ちゃんを？誰が必要としているの？」（"More babies? Who needs them?"）という挑発的なタイトルの議論書を発表した。

もともと、英国の政府アクチュアリー庁（GAD: Government Actuary's Department）が高齢化問題をトピックスとして取り上げたが、そこでは、入国者と寿命の伸び、そして増税と年金貯蓄の高額化・退職年齢の高齢化の要求につながる長寿化の見込みに焦点が当てられているのみで、出生率については触れられていなかった。

そこで英国アクチュアリー会は、一般社会に対して広く問題提起を行うべく、この議論書を発表した。

●将来は英国国民の手の中にある

GAD はその人口予測において、直近のデータを基に英国の合計特殊出生率を1.74と仮定した。この前提の下で、英国の人口は2004年の6,000万人から2050年で6,500万人に増加し、

中央年齢は同じ期間で 38 歳から 44 歳へ上昇、更に支援比率（65 歳以上の人口に対する 18～64 歳の人口の割合）は 3.9 から 2.2 へ減少すると予測した。（以下、「予測 1」とする。）

<参考>国連のレポート"World Population Prospects: The 2002 Revision"による、主な国の合計特殊出生率は次のとおり： インド－3.01，米国－2.11，英国－1.60，日本－1.32，イタリア－1.23

●イタリアン・ファッション？

FPRG は、イタリアの出生率が 1.23 であることから、移住者と死亡率の前提は予測 1 と同一とし、出生率を 1.2 とした場合の人口を予測した。その結果、2050 年における英国の人口は 5,500 万人となり、支援比率は 1.9 となった。年齢別の人口構成は、予測 1 に比べて若年層が少なくなっている。

●どんどん増える？

また FPRG は、移住者と死亡率の前提は予測 1 と同一とし、出生率を 2.4 とした場合の予測を行った。2.4 とは、1940 年生まれの英国女性に関する合計特殊出生率である。この場合、2050 年の人口は 8,000 万人、支援比率は 2.6 となった。若年層の人口が予測 1 よりも多くなっている。

●将来を見据えて

これらのことから、出生率が英国の人口やその年齢構成に大きな影響を与えることは明らかである。また、出生率は人々の決断と経験に依存し、それらは育児に対する政府や会社の支援水準に影響される。そこで、FPRG は議論書の最後に、子供を育てようという決断に影響を及ぼすと思われる施策を列举し、それらを強化すべきか否かを読者に問いかけている。（例えば、母親・父親の育児休暇／手当、週に一定時間以上の労働を認めないようにする、3人以上の子供がいる場合の課税控除、など）読者は英国アクチュアリー会のウェブサイトから回答することができる。

FPRG はこの議論書が英国内で議論を広める一助となることを望んでいる。一方日本では、出生率を 1.39 と仮定した場合の人口は 2000 年の 1 億 2,700 万人から 2050 年で 1 億 100 万人に、支援比率（65 歳以上の人口に対する 15～64 歳の人口の割合）は 3.92 から 1.50 に減少すると予測され、出生率を 1.10 とした場合の 2050 年の人口は 9,200 万人、支援比率は 1.36 と予測されている。（「日本の将来推計人口」平成 14 年 1 月推計 より）このように、日本の少子化はより深刻な問題となっているが、将来の日本を見据えて、今後どうあるべきか、より幅広く議論していく必要があるのではないだろうか。



原文をお読みにになりたい方は英国アクチュアリー会のHPをご覧ください。

<http://www.the-actuary.org.uk/>

"More babies?"